

新春号

伊勢シルバー

第32号



発行：編集 令和4年（2022年）1月1日
 公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター
 〒515-0505 伊勢市西豊浜町141-1
 伊勢志摩総合地方卸売市場2F
 電話 0596-37-7170 FAX 0596-37-7172
 ホームページ：<https://webc.sjc.ne.jp/ise-sc/index>



賀正



理事長 角前 明

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、伊勢市民が楽しみとされていた国民体育大会「三重とこわか国体」・全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」の中止や宮川花火大会、いせまつり等の市民行事が一昨年に続き中止となりました。また、外出の自粛規制等が継続され観光客の減少の影響により当センターの受注件数、契約金額が激減しセンター事業の運営に影響を受けました。しかし、会員の皆さまのご努力、また市の行政や関係者各位の暖かいご支援とご協力を頂き、何とか乗り切ることができました。心より感謝を申し上げるものであります。

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、伊勢市民が楽しみとされていた国民体育大会「三重とこわか国体」・全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」の中止や宮川花火大会、いせまつり等の市民行事が一昨年に続き中止となりました。また、外出の自粛規制等が継続され観光客の減少の影響により当センターの受注件数、契約金額が激減しセンター事業の運営に影響を受けました。しかし、会員の皆さまのご努力、また市の行政や関係者各位の暖かいご支援とご協力を頂き、何とか乗り切ることができました。心より感謝を申し上げるものであります。

口減少により、労働力人口がこれから急激に減少し、今の経済活動の規模を維持できなくなるのではないかと言われています。悲観的な見方があらゆる方面で聞かれる中で、私は「高齢者」という考え方そのものを根本から見直す必要があるのではないかと思っています。

例えば、有名な「サザエさん」の磯野浪平さんは五十四歳という設定でした。サラリーマンの定年が一般的に五十五歳であるころの漫画だったからでしょう。しかし、当センターで活躍している会員の方々の平均年齢は七十三歳です。最近の日本老年医学会の見解では、現在の七十五歳は十年前の六十五歳の体力があると言われています。もはや私たちは、昔のような定年を迎え、体力・気力が衰え、余生をゆっくり過ごすという高齢者ではないのです。

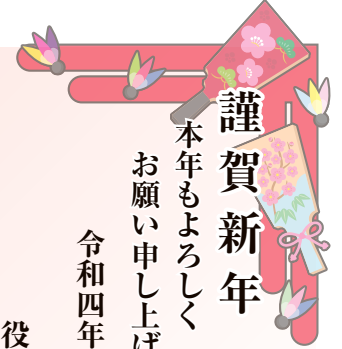
高齢でも健康で元気のある人はたくさんいます。積極的に社会を支えていく担い手として、その知恵や経験を活かすことやまったく新しいことにチャレンジすることが求められる高齢者が社会の主体となる時代がやってきたのです。まだまだ若い者には負けてはいられません。

国も「人生一〇〇年時代」というキャッチフレーズのもと、新たな時代に向けて全ての年代の人が希望に応じて活躍できるエイジレス社会を目指すことを掲げています。こうした時代の中にあつて、その受け皿として対応出来るシルバー人材センターに国及び地方自治体からも熱い期待をかけて頂いています。

当センターにおいても今後は、従来の発想、旧来のやり方で事業を進めるだけでは限界があり、市民や会員の意識の変化や地域ニーズを見ながら、時代に即した新たな発想、視点を持って取り組んでいきたいと思っています。会員の皆様には就業を通じて自身の生きがいを見出し、充実した生活を送って頂くとともに、当センターが、お客様から「親しまれ信頼されるシルバー人材センター」となるようご協力をお願いいたします。

また、シルバー人材センターの会員の心得であります「安全はすべてに優先する」を基本とし「無事故就業」を心掛けて頂き、今年は安全就業の一層の徹底をお願いしたいと思います。

結びにあたり、会員の皆さま並びにご家族の皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。



謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます

令和四年 元旦

役員一同

- 理事長 角前 明
- 副理事長 井坂 裕行
- 常務理事 下村 浩司
- 理事 大塚 雅俊
- 理事 岡埜 正
- 理事 小野 敬司
- 理事 北川 克己
- 理事 北川 幸博
- 理事 黒瀬 恵子
- 理事 近藤 慶満
- 理事 佐々木一晃
- 理事 中崎 茂
- 理事 中辻 一恵
- 理事 西 茂美
- 理事 森本千賀子
- 監事 水島 徹
- 監事 山崎 隆子

(五十音順)

迎春



年始ご挨拶

新年あけまして、おめでとうございませう。

伊勢市シルバー人材センターの会員・役員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

日頃は、福祉・家事援助などの幅広い分野へのサービス提供や美化清掃をはじめとするボランティア活動など、地域社会の発展にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨夏には三重県全域が対象となる2回目の緊急事態宣言が発出されるなど、昨年にも新型コロナウイルス対策に明け暮れる1年となりました。

伊勢市長 鈴木 健一

貴センターにおかれましても会員の確保や就業機会の提供などに大きな影響を受けられたことと存じます。困難な状況の中、創意工夫を重ねられ、一丸となりシルバー人材センターの運営に携わられた皆様に敬意を表する次第でございます。

市においても感染拡大防止を推進するべく、医療従事者に続き高齢者の方からコロナワクチン接種を始め、昨年10月中旬には接種対象となる12歳以上の方の2回目接種率が8割を超えるなど、精力的にワクチン接種を進めてまいりました。現在は、3回目のワクチン接種の推進に鋭意取り組んでいる

ところであり、あわせて経済対策や生活支援対策などを着実に実施し、社会経済活動が早期に回復するよう事業を遂行してまいります。

皆様におかれましては、引き続き、感染拡大防止対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。

本市の高齢化率は上昇の一途をたどり、令和7(2025)年には3人に1人、令和22(2040)年には5人に2人が65歳以上になると推計されています。一方で、現在の高齢者の方は、以前の同年代に比べ、元気で活動的に過ごしている方がたくさんおみえになります。活力ある地域づくりに向け、豊富な経験、知識を有する皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、伊勢市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様、ご家族の皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

あけまして
おめでとうございます

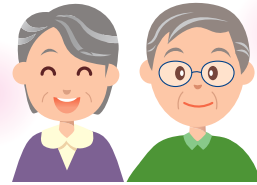
会員互助会役員一同

会長 中村 博明
副会長 金森 泰彦
副会長 豆原 保
副会長 豆原 幸子
会計 井坂 裕行
幹事 中崎 茂
幹事 中村 秋次
幹事 西川 晃
幹事 東 はる美
監事 吉田 久
監事 下村 浩司

事務局職員一同

事務局長 下村 浩司
事務局次長 堀 毅
主任 中津希与美
総務・経理担当 鎌谷 美穂
業務担当 古布 武
業務担当 渡部 舞
業務担当 下井 まゆ

会員の広場



今年の年男・年女は84歳の方が13名、72歳の方が84名です。84歳から1名と72歳から9名の会員さん、次の内容について寄稿いただきました。

(年齢・会員番号順記載)

①趣味として楽しんでいること

②これからの抱負・目標



高須 康男
(小俣5地区)

①近所の友達と鳥羽沖での船釣りと温泉めぐり又ドライブでの景色を楽しみにしておりました。今はコロナで好きな事も出来ず、買物に出る位で、早く自由に楽しむ日がくるようにと思っています。

②仲間と楽しい昼休みの会話のなかで、新しいごみ処理施設が出来ると、今の仕事はどうなるかわからないが、続くならもう少し頑張ろうかと話しています。自分も身体を動かす事が好きで健康維持のために続けたいと思っています。



渡辺 栄子
(沼木地区)

①私の趣味は踊りと絵です。踊りは三十年余りで、ジャズダンス・社交ダンス・レクダンス等で。絵は学生の頃に美術部で油絵をしていました。それから描いていなかったのですが、二年前から始めた水彩画です。描く感覚がよみが

えって楽しんでおります。

②シルバーさんのお蔭で、お友達もでき、楽しくお仕事させて頂き、感謝しています。健康に気をつけながら、これからの年月を大切に過ごしていきたいと思っています。



菊本 敏子
(四郷地区)

①好きな事は、伊勢音頭を踊ることです。他の民踊も習ってはいますが、母に初めて教えてもらった伊勢音頭が好きです。母との思い出につながります。なにもかも遠い昔のことですが、楽しかったことがよみがえるからでしょうか。

②これからの事は、心身ともに健康にくらすことが一番ですが、限りのあることが見えてきた時間を、「大切な人を大切に思いあえる」ことを共有できるといいと思います。



辻村 和子
(御園地区)

①広く浅く太極拳、編物、園芸など楽しんでいきます。みんなに会って喋り体を動かし、いい汗かいています。コロナ禍で出来ない時もあったが気持ち明るく持つてやっています。

②体調を崩し日々当たり前に出来ていた事ができなくなり健康の大切さを痛感しました。御陰様でなんとか回復しました。これから又仕事が出来る事に感謝し、シルバー会員を楽しんで行きたいと思っています。



吉田 久
(神社地区)

①若いころ始めたゴルフが最後まで残った唯一の趣味です。シルバーのゴルフクラブにも入会させて頂き、楽しくやらせて頂いております。健康の為にも続けていきたいと思っています。

②九月で施設管理の仕事が終了

し、現在はフリーです。終了してつくづく感じますが、七十才を過ぎて何もしていないと、体は動かさないし頭も使わない、人とも話さない、のないない状態になり、極めて早いスピードで老化が進んでいく様な気がします。従って出来る限り、体が許す限り仕事を続けていけたらいいなど思っています。



野村 剛
(中島地区)

①趣味は二十四歳から始めたゴルフを五十代半ばに腰痛で断念、会社の若い人に4種類のイカが釣れるからと釣りを勧められやっています。今は休止中です。理由は釣れなくなつたから。その後周りの人がウォーキングをしているのを見て、やるからにはと目標を持続可能な1万歩・1時間に設定、心掛けて雨降り以外現在進行中です。子供達に少しでも負担を掛けない様(笑)。

②シルバーに入会して5年、多種の仕事させて貰い感謝しています。健康で有る間は仕

事をさせて貰い残りの人生を楽しみたい。



大原 一郎
(大湊地区)

①シルバーに入会してはや六年たちました。会社を退職後空いた時間を無駄にしない、何かやらなければと思ひ若い時に、休みになるとカメラを持つてよく写真撮りに行ったことを思い出しました。これからの趣味として、少しでも体を動かすようにしました。そして、ボケ防止になるようにデジカメを購入して友人を誘い出かけるようにしました。今はコロナ禍、出かける機会も少なくなり、イベントもなく早くコロナが終息してほしい。

②今は健康で楽しい日々を過ごしています。シルバーの仲間と仕事をさせていただいているおかげです。これからも元気であらうように続けていきたいです。



中西 章
(辻久留地区)

①陶芸の本の中の一部に「中文章」が作った作品が載っています。宮川村で陶芸の講師をやっています。私の自信作は、「木の葉天目」です。葉っぱを茶碗の中に「化石状」に閉じ込める。葉っぱを固定するのに千三百度に耐える接着剤を十年かけて作りました。「おちよこ」の中にお酒を入れると、とんぼの羽のような葉脈が浮かび、風流でお酒がおいしいです。

②日本の美術館に三箇所しかない「曜変天目」、元は中国からの献上品。「曜変天目」を作れる人はいない。私は三十年間研究しています。



山本多美代
(宮本地区)

①私は子供の頃から、着せ替え人形が好きで、母からもらった古布やハギレで人形のフトンや服を作って遊ぶのが好きでした。今でも、友達と手芸

をしています。とっても楽しい日々をすごしています。

②これからも友達をたくさん作って、古い着物をほどこして袋やタペストリー、小物などを作って一日一日を楽しもうとして行きたいです。リフォーム、リメイクなど生活の一部として生かせたらうれしいです。



山田 正文
(大湊地区)

①船員生活をリタイヤして、さて何をするかと考えた時に、陸へ上がった河童状態で何も無く、ただ始めたのがウォーキングと、家庭菜園でした。まもなく三年になります。今のご時世に丁度合っている趣味ではないかと思っています。まだ素人で、出来不出来の多い菜園ですが長く続く事を願っています。

②今の所、体調も良く身体も動いているので助かっています。これからも無病息災を願ひ、皆様に迷惑を掛ける事無く一日一日を大切に過ごして、目標は魚釣りに出かける事です。

ゴールド会員・夫婦会員制度について

「ゴールド会員」とは、年齢や体力的な理由、家族の介護などで就業ができなくなった場合でも、定時総会や講習会、ボランティア活動、互助会の親睦旅行などに参加でき、今までどおり生きがいの充実や仲間づくりを継続できる会員制度です。

また、「夫婦会員」は、夫婦で入会し、シルバー人材センターの事業に貢献している会員について、会費負担を軽減する制度です。

1 ゴールド会員の要件

- ・ 正会員として2年以上在籍した方で、今後の就業を希望しない方。

3 申し込み

- ① 「ゴールド会員登録申出書」、「夫婦会員登録申出書」を提出いただきます。
- ② 理事会の承認が必要です。

2 夫婦会員の要件

- ・ 夫婦（事実婚を含む。）で会員の場合、一方の配偶者の方。

4 年会費

- ・ ゴールド会員、夫婦会員とも年会費は500円です。互助会費は、一般会員と同じ1,000円です。

区分	就業	定時総会 各種講習会	地区連絡会 ボランティア活動	互助会活動	年会費	互助会費	年会費+互助会費
一般の会員	○	○	○	○	2,400円	1,000円	3,400円
ゴールド会員	×	○	○	○	500円	1,000円	1,500円
夫婦会員 (一方の配偶者)	○	○	○	○	500円	1,000円	1,500円

市行政への要望活動について

全国シルバー人材センター事業協会の定時総会の決議に基づき、市長及び市議会議長に対して8月19日に角前理事長から要望書の提出を行いました。

要望書の内容は、シルバー人材センターとして重点に取り組む事業への支援、補助金の確保、公共からの発注事業の確保などについてです。



鈴木健一市長に要望書



浜口和久議長に要望書

配分金と賃金について

消費税との関係 → 配分金には消費税が含まれています。

現在、会員の皆さんが受け取っている配分金には就業したことの対価としての報酬とそれに係る消費税が含まれています。本来、会員は受け取った配分金に係る消費税は税務署に申告納税する必要があります。しかし、消費税法上は課税売上として受ける金額が、年間1千万円以下であるため、免税業者として取り扱われ申告納税する必要がありません。

ところが、令和5年10月1日から「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」という制度が導入される予定です。この制度が導入されると配分金に係る消費税の取り扱いが変更される可能性があります。現時点では不明な点があるため、制度がはっきりしたら改めてお知らせします。

特集

伊勢の方言 皆さんはどこまでわかりますか？

おおきんな ならう	ありがとう お供え物をさげる	あめる	食べ物が腐る	あはばい	餅	あこや	あん入りの餅	あえ	おいで下さい	だんない	かまわない	おたい	私	よさ	夜	いまし	今	ふごむ	沈む	なう	沈む	
かだもん	怠け者	いけた	あった	いじ	つむじ	いしかけ	石垣	いせこやま	南西の風	いつぶり	短期	いとさ	いなう	お嬢さん	うてる	死ぬ	えせい	薄情な	えせい	ねたむ	えせい	東北からの大風
おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい	おもしろい

かんびんたん	干からびている	きりもの	まな板	きんのう	着物	くちなわ	昨日	けなりい	へび	こいさ	うらやましい	こーちく	頑固	ごうわく	腹が立つ	こおた	買った	ごつごつ	ごちそう	ごどら	なまこ	ごめんして	許して	こやま	西南の風	こわしな	固い、強い	さいら	秋刀魚	さおぐ	騒ぐ	さかい	くだから	ささつて	あさつての翌日	しゅむ	しみる	しよづくなる	かがむ	しよづむ	つまむ	すこい	ずるい	ずつない	苦しい	すま	隅(すみ)	すれこい	ずるい	せきせき	しきりに	せなんだ	しななかった	せんじご	台所	そそこし	そそつかしい	そやもんで	それだから	たつぼ	たにし	たてらかす	立てかける	たとむ	たたむ	たらわん	届かない	だんだ	お風呂
--------	---------	------	-----	------	----	------	----	------	----	-----	--------	------	----	------	------	-----	-----	------	------	-----	-----	-------	-----	-----	------	------	-------	-----	-----	-----	----	-----	------	------	---------	-----	-----	--------	-----	------	-----	-----	-----	------	-----	----	-------	------	-----	------	------	------	--------	------	----	------	--------	-------	-------	-----	-----	-------	-------	-----	-----	------	------	-----	-----

ちびこい	小さい	ちみぎる	つねる	ちやつと	すぐに	ちよぼつと	少しばかり	つおい	強い	つらい	気の毒な	つる	持つて運ぶ	つるむ	一緒になる	つんぞる	混雑している	てんご	いたすら	でんつく	神楽の音	どえらい	すこい	どける	移動する	とごる	沈殿する	とちくる	あわててまごつく	とぼす	火をとます	とわい	遠い	どんたく	休養のこと	なかにし	北西の風	なつとな	なんですつて	なんかなしに	なんとなく	なんね	何か	にいやん	お兄さん	にすい	弱い	にやす	沸かす	ぬくたい	温かい	のう	縫う	のぐ	脱ぐ	はだしか	裸足	はちくま	おてんば	はりこ	まり	ひしやける	つぶれる	ひなずな	弱く丈夫でない	ひやか	冷たい	ふくろび	ほころび	ふつちにとる	散らかしている
------	-----	------	-----	------	-----	-------	-------	-----	----	-----	------	----	-------	-----	-------	------	--------	-----	------	------	------	------	-----	-----	------	-----	------	------	----------	-----	-------	-----	----	------	-------	------	------	------	--------	--------	-------	-----	----	------	------	-----	----	-----	-----	------	-----	----	----	----	----	------	----	------	------	-----	----	-------	------	------	---------	-----	-----	------	------	--------	---------

ぶぶ	水	へいすけどり	フクロウ	へたばる	動けなくなる	へりこ	隅の方	へんどうこい	まずい	へんばり	蜘蛛の巣	ほうたる	蛍	ほたえる	騒いでふざける	ほる	捨てる	まいまい	かたつむり	まいすこき	お世辞を言う者	まえかせ	東風	まかる	こぼれる	まにし	西風	みじやく	潰す	むさんこに	むやみに	むしくる	手でかきとる	むつくりおき	起き抜け	めめる	幼児が泣き顔になる	めんばち	メダカ	めんめ	めいめい	もじく	もぎ取る	もどく	さばく	もんじやで	なものである	やぐい	もろい	やけつり	やけど	やた	大西風	やにこい	やりにくい	やぶる	壊す	やめる	痛む	ゆうぎけ	夕食	ようけ	たくさん	らちいかん	らちがあかない	らつしもない	つまらない	わやく	いたすら	わやくもん	怠け者	わやくちや	無茶苦茶
----	---	--------	------	------	--------	-----	-----	--------	-----	------	------	------	---	------	---------	----	-----	------	-------	-------	---------	------	----	-----	------	-----	----	------	----	-------	------	------	--------	--------	------	-----	-----------	------	-----	-----	------	-----	------	-----	-----	-------	--------	-----	-----	------	-----	----	-----	------	-------	-----	----	-----	----	------	----	-----	------	-------	---------	--------	-------	-----	------	-------	-----	-------	------

※参考資料：伊勢市教育委員会発行 伊勢市総合文化誌 伊勢ぶんか vol.3

安全就業ニュース

令和3年度上半期の事故について報告します。今年度上半期の事故件数は、18件で昨年度上半期より2件の増となっています。就業中の事故防止のため、安全就業パトロールを実施していますが、会員一人ひとりが安全意識を高め、引き続き、事故防止に努めてください。また、車両事故が4件発生しています。全国的に高齢者の交通事故が注目されていますので、より一層安全運転に努めてください。

令和3年度上半期事故発生状況

■傷害（ケガ）の部

発生年月日	傷 害（ケガ）の 状 況
R3. 5.15	墓地の除草作業中に、虫に右足首を刺された。
R3. 6.20	店舗の駐車場で、リサイクルステーションのごみを回収しているときに、足元後方にある車止めにつまづき背面から転倒した。
R3. 7.17	駐車場内の植込みの雑草を抜き取りしていたときに、植込みの中から蜂が飛び出し下唇を刺された。
R3. 7.26	堤防下で集草作業中に、虫に左腕の肘の内側を刺された。
R3. 8. 9	屋外の清掃作業中に、暑さで汗をかいて脱水状態となり熱中症になった。
R3. 9.22	公園で草刈り作業中に、右手小指を切傷した。
計	6件

■損害賠償の部

発生年月日	内 容
R3. 4.15	草刈り作業中に、飛石により前の道路に駐車中の車の後部ガラスを破損させた。
R3. 4.23	公園管理業務で草刈り作業中に、飛石により市道を走行中の車のフロントガラス等を破損させた。
R3. 6. 5	庭の草刈作業中に、飛石により庭に面した建物の窓ガラスを破損させた。
R3. 6. 5	空地の草刈作業中に、飛石により前の道路を走行中の車の左側窓ガラスを破損させた。
R3. 6.10	墓地の清掃作業中、花筒を洗っているときに手を滑らせ落として破損させた。
R3. 7.14	施設の看板の周囲を草引き作業中に、誤って埋設された照明の配線を切断した。
R3. 7.29	事業所の構内の草刈作業中に、剪定ハサミでつる草をとるときに誤ってエアコンの室外機を切創させた。
R3. 8. 2	墓地の草刈り作業中に、飛石によりロウソク立てを破損させた。
R3. 8.23	庭の立木を剪定作業中に、枝の裏側にあった引き込みの電話線を誤って切断させた。
R3. 8.27	公共用地の草刈作業中に、飛石により前の道路を走行中の車の左側後部窓ガラスを破損させた。
R3. 9.17	工場内の草刈作業中に、刈払機でエアコンの室外機の冷媒配管を切創させた。
R3. 9.28	造成宅地の草刈作業中に、飛石により道路の向かい側建物の窓ガラスを破損させた。
計	12件

福祉・家事援助サービス委員会からの報告

福祉・家事援助サービス委員会 委員 森本千賀子

福祉・家事援助サービス委員会では9月に、独居老人の安否確認を行いました。新型コロナウイルス感染症が拡大する状況の中、少人数で女性の会手芸サークルの協力のもと、保険証や通帳などを入れるケースを作り、プレゼントとして手渡し、安否の確認と交流を深めました。

ケースは使いやすくと、とても喜んでいただき嬉しく思いました。手芸サークルの会員の励みにもなっています。

この安否確認は、毎年続けさせていただいております。これからも続けていきたいです。



剪定就業体験が開催されました

令和3年10月15日（金）朝熊山麓公園で三重県シルバー人材センター連合会の主催による植木剪定の就業体験が秋空の下、開催されました。新たにシルバーで就業を希望する人や職種転換を希望する会員を対象に、7名の参加がありました。

日頃から、剪定に従事している当センターの会員が講師役となり、参加者の皆さんは熱心に受講されていました。



講習会の様子



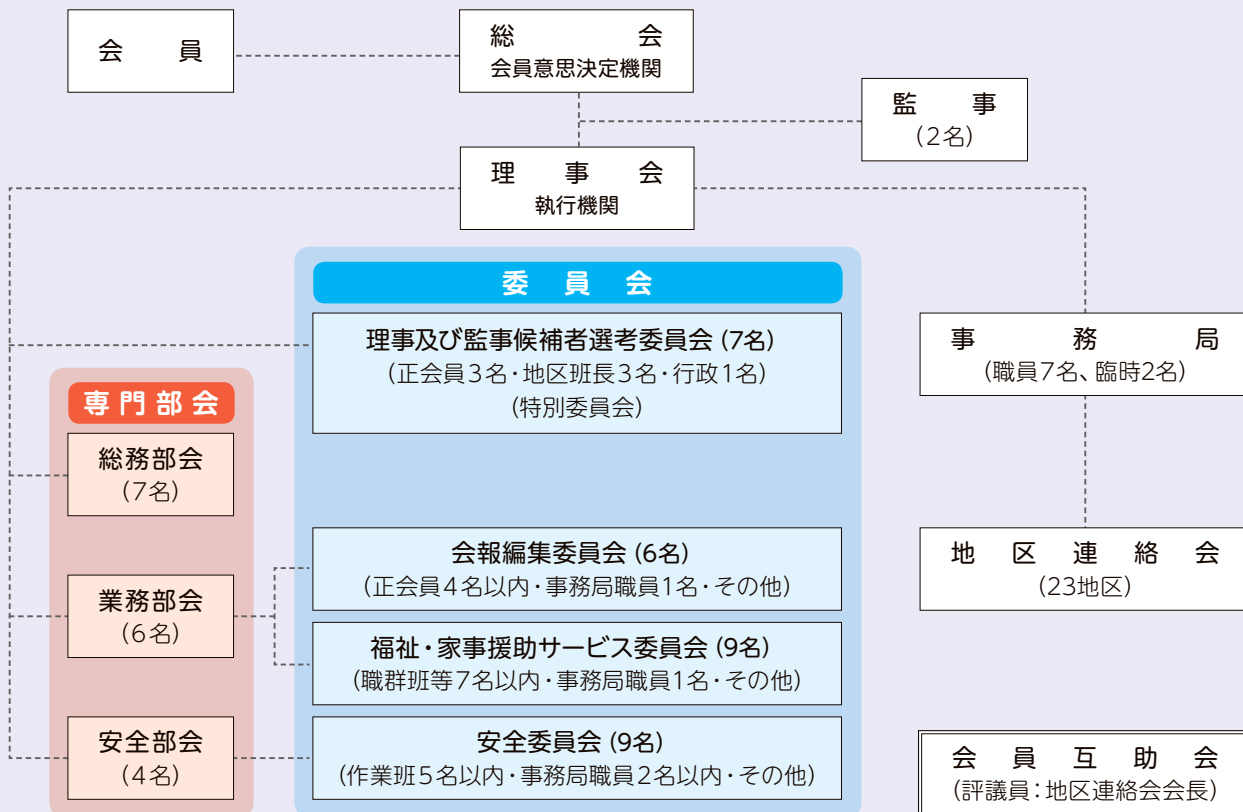
講習会の様子

部会・委員会組織体制

シルバー人材センターでは、シルバー事業の円滑かつ効果的な運営と事業の拡大に対応するため、理事会の下に3つの部会と3つの委員会及び必要に応じて特別委員会を設置しています。

なお、来年度は役員改選のため、「理事及び幹事候補者選考委員会」を令和3年10月26日に設置しました。

公益社団法人伊勢市シルバー人材センター組織図



総務部会	部会長 井坂 裕行 副部会長 北川 克己	●事業計画・予算の策定及び事業報告・決算 ●総会、理事会 ●役員の選任及び職員の人事 ●中長期計画 ●特定公益増進法人 ●組織全般 ●他の部会に属さない事項 に関すること
業務部会	部会長 中崎 茂 副部会長 黒瀬 恵子	●会員の入会及び入会説明会 ●事業の普及啓発及び就業機会の開拓 ●事業の調査研究及び開発、運営 ●福祉・家事援助サービス事業及び子育て支援サービス事業 ●会報編集 ●奉仕活動 ●その他の事業普及啓発 に関すること
安全部会	部会長 北川 幸博 副部会長 小野 敬司	●安全・適正就業 ●安全教育 ●その他の安全・適正 に関すること
会報編集委員会	委員長 中崎 茂 副委員長 芝 武宏	●会報「伊勢シルバー」の編集・発行 ●その他、会報紙 に関すること
福祉・家事援助サービス委員会	委員長 豆原 幸子 副委員長 黒瀬 恵子	●福祉・家事援助・育児の就業 ●会員の知識・技能向上 ●事業の就業開拓・ボランティア活動の推進 ●会員の健康維持・推進 ●その他、福祉・家事援助サービス事業 に関すること
安全委員会	委員長 北川 幸博 副委員長 小野 敬司	●会員の就業に際しての安全及び健康保持 ●安全衛生講習の実施 ●傷害事故に関する原因調査と再発防止 ●その他安全就業に必要な事項 に関すること

新型コロナウイルス感染症対策を万全に!

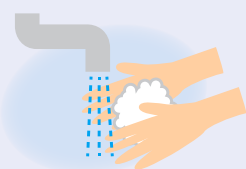
伊勢市健康福祉部健康課 TEL: 0596-27-2435

新型コロナウイルス感染症は、収束と感染拡大を繰り返している状況ですが、感染者数が減少していても感染拡大期と同様の予防対策の徹底が大切です。

感染症予防対策の徹底を

① こまめに手洗い、手指消毒をしましょう

指先・爪の間・指の間や手首も忘れずに洗いましょう。



② 目指そうゼロ密!

密閉しない 密集しない 密接しない

人と十分な距離を保ちましょう。
混雑している場所や時間帯を避けましょう。



③ 会話時はマスクを着用しましょう

マスクは鼻の形に合わせ、顎下まで覆い顔に隙間なく密着させてください。できれば不織布マスクを使用しましょう。



④ 飲食するときの注意点

年末年始は、人との交流の機会が増えるため感染リスクが高まります。感染拡大を防止するため飲食の際は少人数、短時間で、会話をするときはマスクを着け大声は避けましょう。

※広報いせ令和3年11月1日号「健康なんでも相談室」も参考にご覧ください。

発熱等症状がある方の受診方法

- 1 まずは、かかりつけ医等の身近な医療機関に、電話でご相談ください。
- 2 相談する医療機関に迷う場合は、「受診・相談センター」(伊勢保健所) 0596-27-5140
※ 21時から翌9時までは、「三重県救急医療情報センター」059-229-1199にご相談ください。

3回目のワクチン接種について

新型コロナウイルスワクチンを2回接種した場合であっても、接種後の時間経過とともに感染予防効果が低下することが報告されております。

伊勢市におきましても国の方針に基づき、初回接種(1回目、2回目)から原則8ヶ月経過した方の追加接種(3回目)を12月より医療従事者の方から開始しており、対象の方には、接種が可能となる時期に順次接種券を郵送いたしますので、接種を希望される方はご検討ください。

事務局だより

会員募集

会員拡大にご協力をお願いします。

当センターでは、伊勢市在住で原則60歳以上の健康で働く意欲のある人を募集しています。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で会員の減少が前年度から続いており、会員を増やすべく、広報いせ等への広告掲載、昨年9月には会員募集の新聞折込チラシ、10月以降はスーパー店頭でのチラシ配布、また月1回のハローワークでの入会・お仕事相談会なども行っています。

会員の皆さんには、友人や知人の方に一声掛けていただき、入会のお誘いをお願いします。ご紹介いただいた方が入会された場合は、紹介会員さんに心ばかりのお礼をさせていただきます。(事前に事務局へご連絡ください。)

入会説明会

●日時 原則、毎月第2金曜日 (3月を除きます。)

午後1時30分

令和4年	1月14日	2月10日	4月8日
11月11日	5月13日	6月10日	7月8日
8月12日	9月9日	10月14日	
12月9日			

●場所 伊勢市西豊浜町一四一一

伊勢志摩総合地方卸売市場

2階事務所

※必要書類がありますので、事前に事務局までお問い合わせください。

☆☆会費納入方法が変わります☆☆

令和4年度の会費(2,400円)と互助会費(1,000円)、あわせて3,400円です。

年会費は、これまで毎年4月15日に会員の皆さんのゆうちょ銀行の口座から引き落としさせていただいておりましたが、令和4年度から、4月支払の配分金(年会費に満たない場合は、5月または6月分)から控除させていただきます。配分金で控除出来なかった方、派遣就業のみに従事されている方については、現在届けていただいている銀行口座から自動振替(引落とし)させていただきます。

配分金支払証明書の送付について

令和3年1月~12月分就業の配分金支払証明書は、令和4年1月15日頃、圧着はがきで発送予定です。

令和4年度定時総会開催のお知らせ

ご案内は、別途致しますのでご参加いただきますようお願いいたします。

●令和4年度定時総会

日時 令和4年6月2日(木) 午後1時30分~
場所 いせトピア 多目的ホール
(伊勢市生涯学習センター)

二見連絡所のご案内

令和3年8月から担当者が交代しました。

大嶋 八千代 よろしく申し上げます。

会員の皆さんへ

確定申告のお知らせ

今年も確定申告の時期が近づいてまいりました。皆さんが受領した「配分金」収入は、必要経費を控除した金額を「雑所得」として、所得税の確定申告をする必要があります。

令和3年分の所得税の確定申告期間

令和4年2月16日(水)から令和4年3月15日(火)

※令和3年12月7日時点での情報によります。

配分金に係る雑所得の計算方法

1. 配分金収入から必要経費を控除した金額です。
2. 必要経費の額が65万円未満の場合は、収入金額を上限として65万円を控除することができます。

(注)シルバー人材センターからの収入のほかに給与収入や事業所得及び公的年金以外の雑所得がある場合は、65万円から給与収入金額や事業所得と公的年金以外の雑所得の必要経費を差し引いた差額でしか控除できませんのでご注意ください。詳しくは、税務署や市役所課税課担当へ相談してください。

◆◆編集後記◆◆

あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの影響から、伊勢市のイベントは中止、また互助会旅行も実施できず、これらの紹介はできなくなりました。これに代わる内容として、伊勢の方言と当センターの組織を話題にしました。

伊勢の方言は、他県から越して来られた会員さんから、伊勢弁が理解できずに困ったという話を聞いたことがきっかけです。一方センター組織図において、会報編集委員会が本誌を発行していることをご理解いただければ幸いです。

編集委員 芝 武宏

報 告

(令和3年7月~11月)

長岡 正一 さま
村井 清吉 さま
山本 千代仁さま

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

合掌 会員一同